

令和4年度宇佐市人権啓発講演会・県民講座

# 演題「おばちゃん目線で見ると、社会の問題」

講師：谷口 真由美 氏

(法学者 大阪芸術大学客員准教授)



様々な社会問題に、大阪のおばちゃん目線で  
鋭くつっこみ、問題提起し、誰にでも分かりやすく解説。  
テレビ、ラジオでの情報・報道番組出演、  
新聞・機関誌コラム、講演会など多数。  
(プロフィールの詳細は裏面をご覧ください)

日時：令和4年 7月14日 (木曜日)

場所：宇佐文化会館 大ホール

(宇佐市大字法鏡寺 224 番地)

定員 500 名  
入場無料

| 時間          | 内容             |
|-------------|----------------|
| 12:30~13:30 | 受付             |
| 13:30~14:10 | 宇佐市人権啓発推進協議会総会 |
| 14:10~15:30 | 講演会            |

7月12日(火曜日)までに「氏名・住所・電話番号」を  
電話またはホームページの申込フォームよりお申込み下さい。  
QRコードからでもお申込みが出来ます。



(申込フォームQRコード)

(申込先) 宇佐市人権啓発・部落差別解消推進課

人権啓発・部落差別解消推進係 TEL 0978-27-8122

〔主催：大分県、大分県人権教育・啓発推進協議会、宇佐市、宇佐市人権啓発推進協議会〕

## 谷口 真由美 氏 プロフィール



### 【略歴】

1975年、大阪市生まれ。

父が近鉄ラグビー部コーチ、母が同部寮母だったため、寮のあった花園ラグビー場内で育つ。

人権、政治はじめ様々な社会問題に、大阪のおばちゃん目線で鋭くつつこみ、問題提起し、誰にでも分かりやすく解説。テレビ、ラジオでの情報・報道番組出演、新聞・機関誌コラム、講演会など多数。現在は大阪芸術大学客員准教授、過去には大阪国際大学、大阪大学でも教鞭を執っていた。

2005年～2021年まで非常勤講師として教鞭を執った大阪大学では、日本国憲法を教え、1限にも関わらず大講義室を満員にする伝説的講義となり、ベストティーチャー賞も4度受賞。

2012年、オッサン社会に愛とシャレでつつこみをいれること、そして政治経済を難しいことと捉えずにおばちゃんの井戸端会議のように意見を言い合いながら暮らしの事は政治の事としておばちゃん全体の底上げを図りたいと、Facebook上で『全日本おばちゃん党』を立ち上げ代表代行を勤めた。海外メディアからの注目も高く、仏紙リベラシオンにも取り上げられる。党員は6000人を超えたが2019年に解散。

2018年、メディア内部で働くセクハラ被害についての調査を元に、『メディアにおけるセクハラを考える会』を立ち上げ、代表として日本外国特派員協会で会見を開く。2019年、ラグビー・ヤマハ発動機元監督の清宮克幸氏が立ち上げた（一社）アザレア・スポーツクラブの理事も務め、女性アスリートの環境改善、子供のスポーツ育成にも力を注ぐ。2019年6月には（公財）日本ラグビーフットボール協会理事就任。2022年開幕予定の新リーグ法人準備室長を経て、新リーグのチーム振り分けを審査する審査委員長を務めた。

2021年6月、日本ラグビーフットボール協会理事退任。

2022年2月、ラグビー協会での2年間にわたる経験をまとめた「おっさんの掟『大阪のおばちゃん』が見たラグビー協会『失敗の本質』」（小学館）を出版。

**講演では、法学者として長年大学で教鞭をとってきた専門知識と持ち前の明るいキャラクターで、ややこしい社会問題も、誰もがわかりやすく納得できるように語る。**